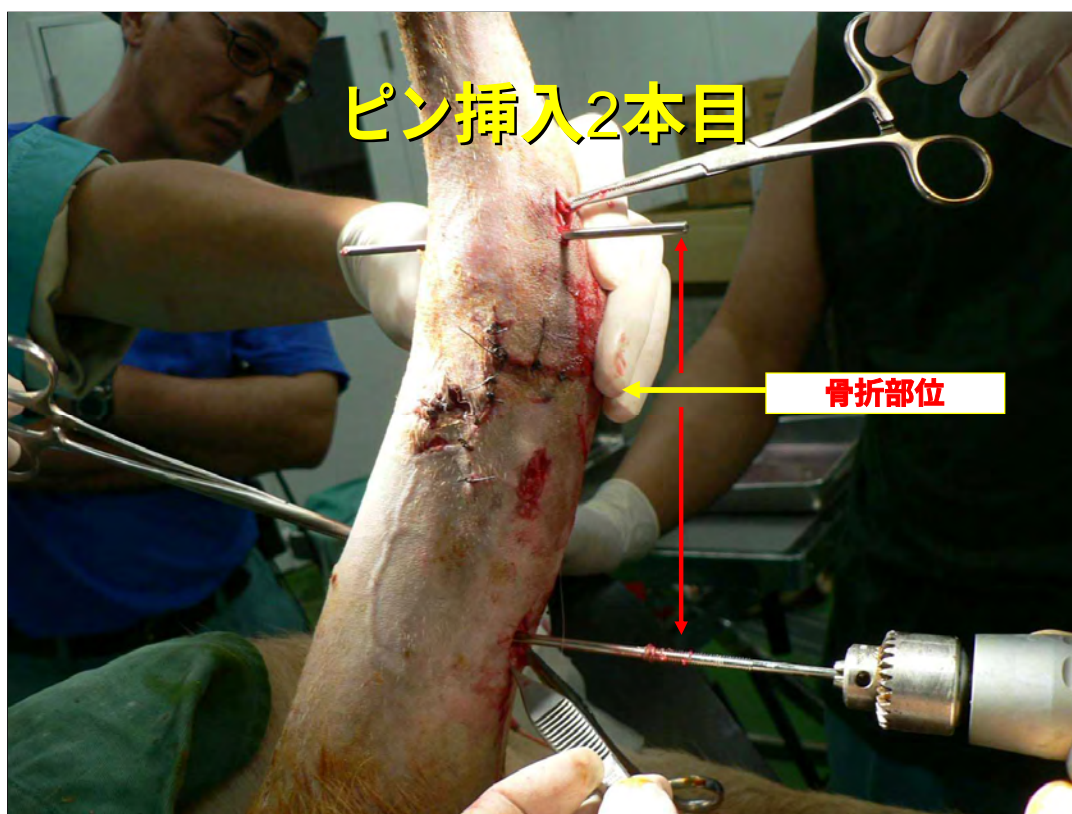
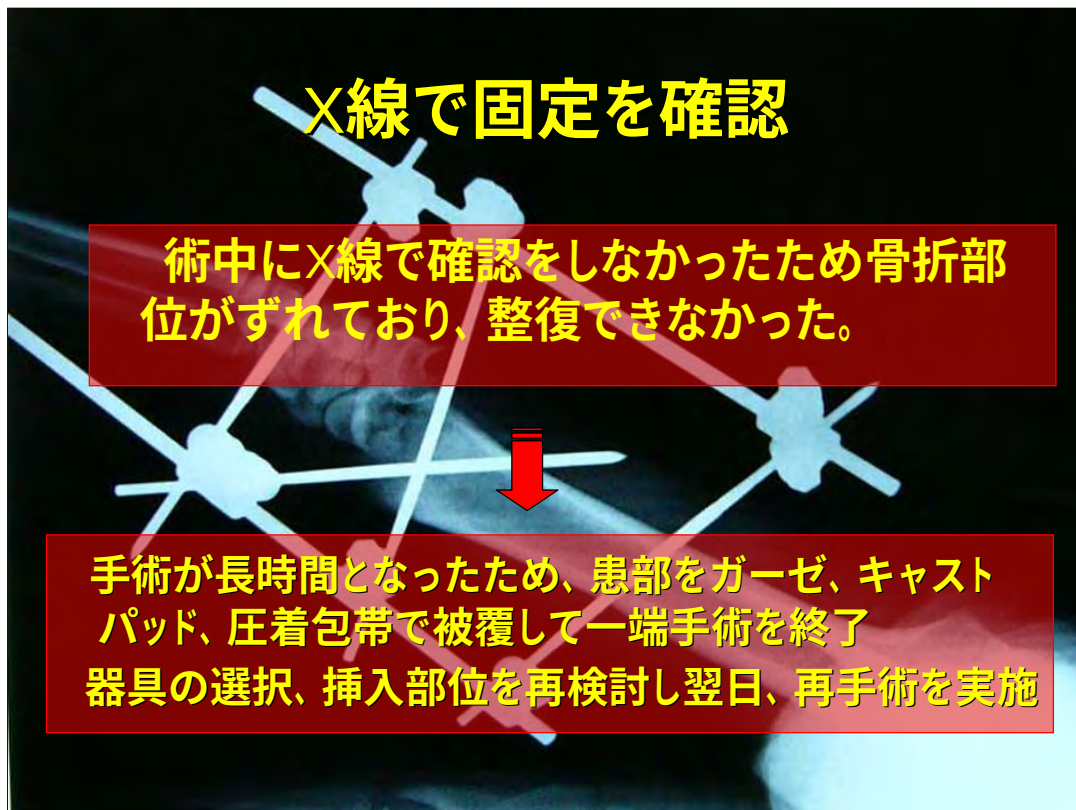




ピンはまず骨折した部位の両側の一番遠いピンから挿入します。



2本のピンをロッドとクランプで固定します。このようにまず外側の枠を作った後にさらに数本のピンを挿入して固定力を高めていきます。通常は骨折部分の両側に2本ずつピンを挿入し、長期間の固定が必要な骨折の場合は片側に3本以上のピンを挿入することが推奨されています。



最後にX線で正確に整復されているかを確認します。今回、創外固定は初めてで知識的、技術的に未熟だったため骨折端の一方に1本のピンしか挿入することができず固定に失敗しました。

X線で確認した時点ですでに手術開始から4時間以上経過していたため、一端患部を滅菌ガーゼ、キャストパッド、圧着包帯で巻いて手術を終了しました。そして器具の選択、挿入部位について再検討して翌日再手術を実施しました。